

12月放送総局長定例記者会見要旨

(1) 第71回NHK紅白歌合戦「ゲスト審査員」「審査方法」決定 (正籙放送総局長)

いよいよ、第71回NHK紅白歌合戦が8日後に迫ってきた。ゲスト審査員が決まったので発表させていただきます。資料にあるとおり、大変バラエティーに富んだ方々をお呼びすることができました。今年話題を振りまいた方々から、コロナ禍にありながら「今こそ歌おう みんなでエール」という番組のテーマにも共鳴するような活動をなさった方々、さらにはNHKのドラマや番組で活躍された方々など、9組の皆様にお集まりいただく。

あわせて、紅白歌合戦の優勝チームを決定する審査方法についてもお知らせする。今回は無観客ということもあり、テレビのリモコンでの投票のみで勝敗を決定する。さらに、紅白をご覧いただいた時間の長さが長いほど“得票数”が増えていく、という新しい試みを行う。いわば、長く見ていただければいただけるほど、勝敗の行方に深く関わることができる、という仕組み。時間に応じて獲得した1票から最大5票まで、持っている票をすべて紅白どちらかに投票していただき、票数の多い方が勝利する。連続テレビ小説「エール」に関する特別企画も決まった。

(詳細は報道資料を参照)

(2) あの日、そして明日へ ～それぞれの3654日～ 東日本大震災10年 (正籙放送総局長)

来年3月11日で10年となる東日本大震災について。NHKではこれまでも、さまざまな番組やイベントで、被災者の思いや復興への課題などをお伝えしてきた。

2021年の年明けから展開する、全体のキャッチフレーズは、「あの日、そして明日へ ～それぞれの3654日～」。一人一人、一日一日、決して一様ではない現実、しっかり向き合うという思いを込めた。

主な企画では、まず1月3日に『明日へつなげよう 10年特集』を放送する。東北3県を継続的に取材し人々の課題を見つめてきた渡辺謙さんらが、10年の歳月と現状について伝える。震災を経験した子どもたち、震災後に生まれた子どもたち、それぞれに夢を育んでもらう、歌の企画も予定している。復興支援ソング「花は咲く」は、新たなバージョン、「花は咲く2021」を1月から放送する。監督は宮城県出身の岩井俊二さん。東北ゆかりの方々が、歌詞を朗読でつなぐという演出で制作した。一人一人が10年を振り返り、思い思いの感情で詞を読み上げる。

また、NHKスペシャルは、7本程度放送を予定している。津波に遭遇した人々がどのような避難行動をとり、何が生死を分けたのか、大規模な調査・分析から明らかにする。震災遺児は、およそ1800人に上るとされている。多感な時期に肉親を失った遺児の多くは、自らの心にふたをして暮らしてきた。10年目を迎え、それぞれの人生を歩もうとする遺児たちの言葉にも耳を傾ける。

既に発表しているが、ドラマも予定している。10年間揺れ動き続けた心の葛藤や、一步一步の歩みを丁寧に描き、必死に生きる人たちの胸に届く作品を目指している。

災害時の食に関するエピソードや、レシピに込められた知恵を伝える「#思い出レシピ」については、3月に特集番組の放送を予定している。

ツイッター上の企画、「東北ツイート聞き語り」では、それぞれの3654日をキーワードに、東北の各地で、かつて番組に出演された方との再会や新たな出会いを通して、東北の“今”や魅力を発信する。放送とも連動する。

このほか、NHKのニュースや番組アーカイブス映像をフル活用した特別展や、NHKプラスクロスSHIBUYAでの連動企画も開催する予定だ。

一連の番組やイベントを通して震災を振り返ることで、次の1日、次の10年に生かし、未来へとつなげていく。

(詳細は報道資料を参照)

(3) 新型コロナウイルス特設サイトのデータダウンロードについて (小池副総局長)

NHKは、新型コロナウイルスの感染者数や死者数などについて毎日全国で取材し、ニュースでお伝えしているほか、特設サイトでも、さまざまなデータを掲載している。このほど、これらのデータの一部を、CSV形式でパソコンなどにダウンロードできるようにした。新型コロナウイルスの感染が広がる中、公益性の高い情報を活用しやすいデータ形式で公開することで、公共メディアとして幅広いニーズに応えていく。

(詳細は報道資料を参照)

(4) NHKスペシャル「新しい自分へ ～池江璃花子20歳～」 (小池副総局長)

来月「成人の日」を迎える、競泳の池江璃花子さんを取り上げたNHKスペシャルについて、お伝えする。NHKスペシャルでは、白血病からの再起を目指す日々を記録し、今年5月に放送した。今回は、その第2弾。池江さんは、8月にレースに復帰。50メートル自由形で自己ベストに約2秒に迫るタイムを出し、その後、10月の日本学生選手権では4位に入った。その歩みは、順風満帆のようにも見えるが、私たちが目の当たりにしたのは、トップスイマーとしての過去の幻影との闘い。想像を絶する孤独な闘いだ。それでも池江さんは、「これこそが自分の人生」と、前に進んでいく。コロナ禍で多くの人々が新たな生き方を模索する中、未来を切り開こうとする池江さんの姿に迫る。

(詳細は報道資料を参照)

(5) NHKスペシャル「私たちの“目”が危ない」 (小池副総局長)

1月16日放送のNHKスペシャル「私たちの“目”が危ない」について。気がつかないうちに深刻化している「目」の実態に迫る。スマートフォンやタブレットなど、“目に厳しい”現代の生活環境の中で、私たちは「目」をどう守っていけば良いのか？最新の研究や調査を元に、近視のリスクを下げられる具体的な方策についてお伝えしていく。

(詳細は報道資料を参照)

(6) ザ・ヒューマン「届かなければアートはゴミだ NY 美術家 松山智一」 (若泉副総局長)

BS1で放送する番組から、さまざまなジャンルで新たな世界を切り開こうとする人たちを描く、本格的ヒューマン・ドキュメンタリー、「ザ・ヒューマン」を紹介する。1月の放送では、現代アートの最前線・ニューヨークで活躍するアーティスト、松山智一さんの300日に密着する。松山さんは、ビル・ゲイツや世界の有名美術館などがその作品を購入する、今、注目の人。コロナ禍で展覧会が中止になるなど、困難な状況に置かれながらも創作の手を緩めない松山さんに、自撮りやリモート撮影を駆使して迫る。放送は、1月9日土曜日、午後10時から。

(詳細は報道資料を参照)

(7) 京都人の密かな愉しみ Blue 休業中 燃える秋 (若泉副総局長)

BSプレミアムの「京都人の密かな愉しみ」について。この番組は、外からうかがい知ることができない京都人の生活の中の密やかな喜びや苦悩を、繊細な季節感とともにドラマとドキュメンタリーを掛け合わせた手法で描くシリーズで、2015年から放送してきた。その最新作を放送する。今回、ドラマ部分では、京都の伝統を受け継ごうとする5人の若き職人たちの恋が燃え上がる。また、ドキュメンタリー部分では、秋の京都ならではの美しい紅葉や、季節を感じる京の食をご紹介します。放送は1月30日土曜日、午後7時30分から。BS4Kでも同時放送するので、美しい映像をたっぷりお楽しみいただきたい。

(詳細は報道資料を参照)

(8) 夏井いつきのよみ旅！新春スペシャル in 愛媛 (若泉副総局長)

Eテレでは、1月8日と15日、2回シリーズで、「夏井いつきのよみ旅！新春スペシャル in 愛媛」を放送する。俳人の夏井いつきさんとローランドさんが、愛媛県内を旅する。

(詳細は報道資料を参照)